

5 主要事業個別説明資料

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

一般国道331号「沖縄西海岸道路（豊見城道路）」の整備促進 ～平成17年度 部分暫定供用～

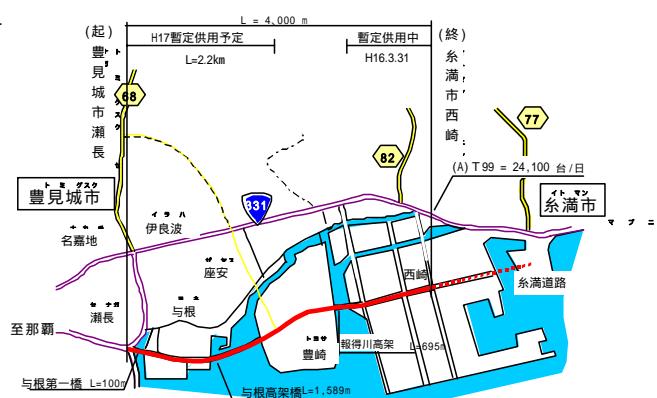
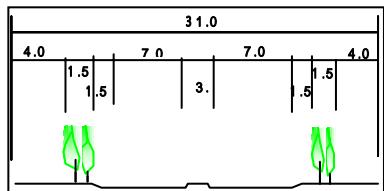
1. 事業概要

豊見城道路は沖縄西海岸道路（延長約50km）の一部を構成する道路で、豊見城市瀬長から糸満市西崎に至る延長L=4.0kmの道路であります。本路線は、豊見城市及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇空港・南部観光地への交通アクセス向上、地域開発プロジェクト（豊見城村（豊崎）地先開発事業）の支援に資する道路として期待されています。

平成18年度の暫定供用を目指し事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分
継続
事業区分（直轄・補助）
直轄
事業着手年度
平成元年度
完成予定年度
平成18年度（暫定）
平成17年度事業費
4,200百万円

概要図



【進捗状況】



2. 平成17年度の整備内容

豊見城市瀬長～同市豊崎地先間を暫定部分供用すると伴に、事業の進捗を図ります。豊見城道路を整備することにより、以下の効果が期待できます。

- ・アウトレットモール～空港間の所要時間 19分 14分に短縮
- ・渋滞損失時間 156万人時/年 134万人時/年に減少
- 渋滞損失金額 (206億円/年) (202億円/年)
- ・CO₂排出量 1,585,225t/年 1,582,975t/年に約2,300t/年に減少

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

一般国道329号「与那原バイパス」の整備促進

～平成17年度 暫定部分供用～

1. 事業概要

与那原バイパスは、一般国道329号与那原交差点及び与那原町周辺の交通渋滞解消を図り、これらの交通混雑の緩和、主要幹線道路の機能を高めると共に、那覇空港自動車道及び南風原バイパスと一体となった幹線道路網を形成し交通の効率的な分散を図る役割を担っています。

平成20年代前半の暫定供用を目指し、事業の進捗を図っていきます。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成4年度

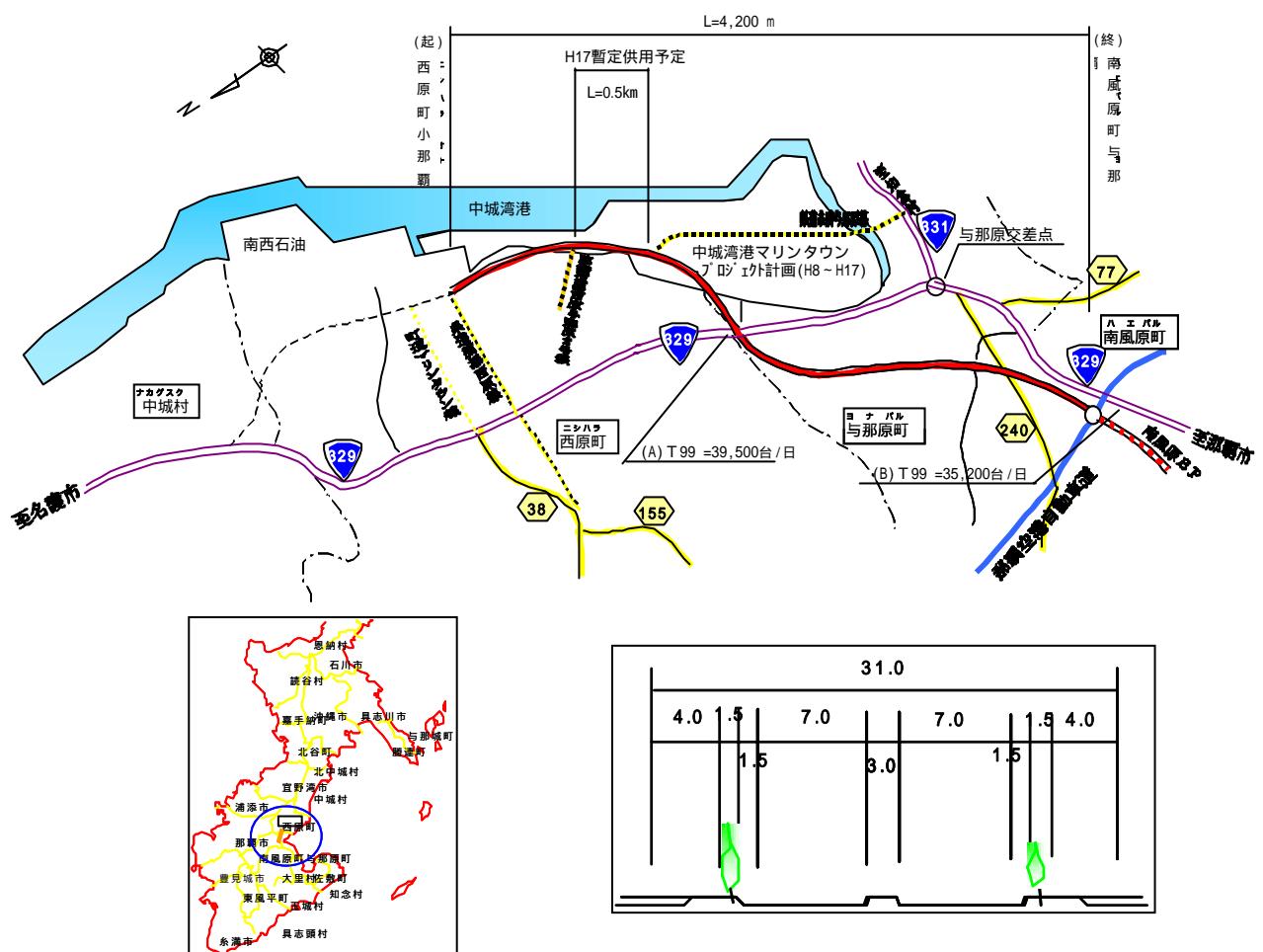
完成予定年度

平成20年代前半（暫定）

平成17年度事業費

3,500百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

マリンタウンプロジェクト内の暫定供用を行うと共に、工事促進及び用地買収を促進します。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

那覇港浦添ふ頭地区臨港道路（浦添線）の整備促進

～より効率的な物流体系の形成を目指して～

1. 事業概要

那覇港は沖縄県の物流の中心拠点港湾として県の経済活動を支えていますが、那覇港と本島中心部の連絡は慢性的な交通渋滞が発生している市街地を通過せざる得ない状況です。

臨港道路（浦添線）事業は、市街部をバイパスしたアクセスを確保し、併せて新たな物流拠点が形成されることにより、効率的な物流体系を構築するものです。平成17年度より新規整備に着手します。

完成・新規・継続の区分
新規
事業区分（直轄・補助）
直轄
事業着手年度
平成17年度
完成予定年度
平成21年度
平成17年度事業費
100(95)百万円

概要図

＜将来イメージ＞



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、調査測量及び実施設計を実施します。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

【安全安心な生活の確保災害に強い建土づくり（安全）】

那覇港トランシップ港湾の実現に向けた国際海上コンテナターミナルの整備促進
～平成18年1月供用予定～

1. 事業概要

那覇港においては沖縄自立経済確立を先導し、物流機能の効率化を図るため、国際競争力の向上を目的としたトランシップ港湾を目指しています。国際海上コンテナターミナル（岸壁水深 - 13m）整備事業は、この基幹施設となるものであり、港湾施設の長期貸付等特区制度を活用するとともに民間のターミナルオペレーター企業が誘致されています。また、大規模な地震が発生した場合の緊急物資、避難者の海上輸送に対応するための施設としての機能を併せもつものとなっています。これまで岸壁本体、背後埋立、前面泊地浚渫を行い、16年度において施設本体がほぼ完成致しており、平成18年1月から供用の予定です。

完成・新規・継続の区分
継続
事業区分（直轄・補助）
直轄
事業着手年度
平成9年度
完成予定年度
平成17年度
平成17年度事業費
500(475)百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、船舶の荷役等の安全確保のため岸壁の付帯設備（フェンス・ゲート等）の施工を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

石垣港大型国際旅客船ターミナル整備事業 ～台湾等からのクルージングの玄関口を整備します～

1. 事業概要

石垣港では、大型旅客船が台湾や横浜、神戸等から年間30～50隻（定期・不定期）寄港し、石垣市をはじめとする八重山地域の観光産業に大きく貢献しています。しかしながら、旅客船に対応した岸壁が未整備であるため、貨物船等と同じ施設の利用を余儀なくされており、荷役される貨物の中を乗客が往来するなど安全性、効率性に問題が生じています。

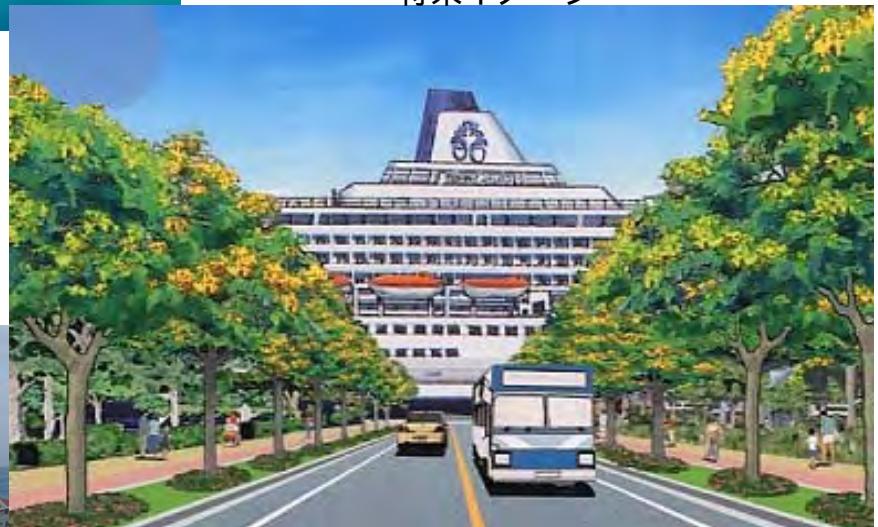
石垣港大型国際旅客船ターミナル整備事業は、観光立市宣言を掲げている石垣市等においてクルージングを推進し、かつ地域の観光産業振興に大きな寄与が期待されています。

完成・新規・継続の区分
新規
事業区分（直轄・補助）
直轄
事業着手年度
平成17年度
完成予定年度
平成23年度
平成17年度事業費
100（95）百万円

概要図



＜将来イメージ＞



＜現況＞



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、調査測量及び実施設計を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

首里城地区（書院・鎖之間）整備

～平成17年度 完成事業～

1. 事業概要

首里城公園は、歴史・文化の拠点として魅力度の高い施設整備や文化遺産の鑑賞、見学、体験という観光形態の充実等を基本方針として進めています。

書院は、王府時代に国王が日常政務を行っていたところです。また、鎖之間は王子が賓客の接待に使っていたところであり、往時の状況を再現する場として書院・鎖之間の復元整備を進め、平成17年度の完成を目指します。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成16年度

完成予定年度

平成17年度

平成17年度事業費

355百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、書院・鎖之間の復元整備として木造建築工事を実施し、琉球の歴史文化を体感できる整備を進めて、早期開園を目指します。

- 【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】
- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

**主要地方道 平良城辺線
～平成17年度 新規事業～**

1. 事業概要

平良城辺線は、宮古島の中心部を縦貫する平良市から城辺町に至る幹線道路であり、緊急輸送道路に指定されている道路である。

当該事業は、宮古病院付近から宮古空港入り口付近までの区間において電線類の地中化を図るものである。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成17年度

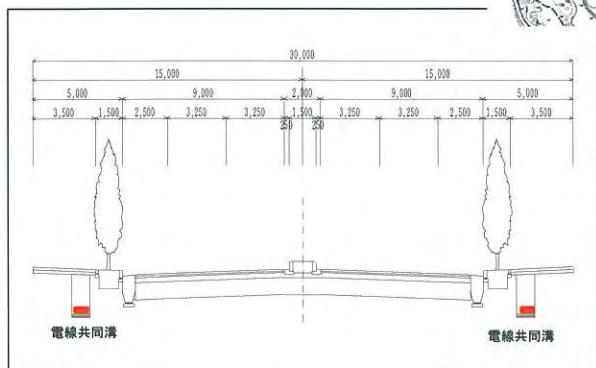
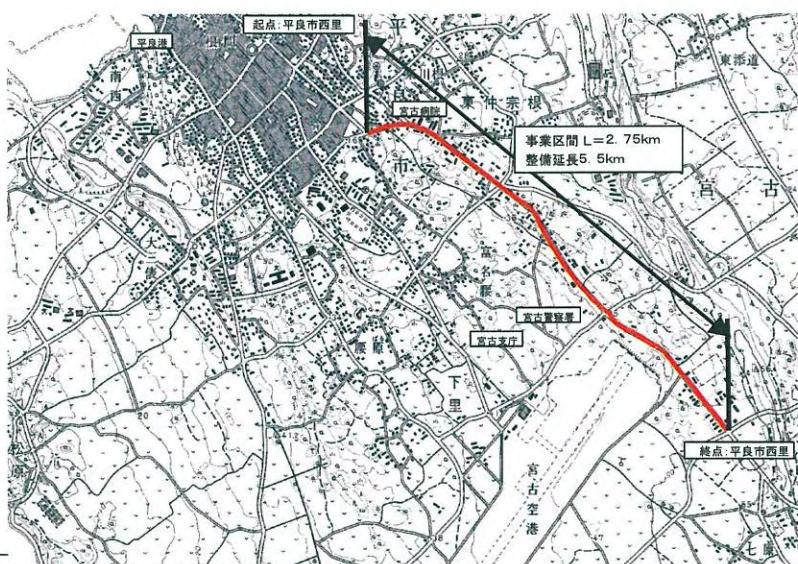
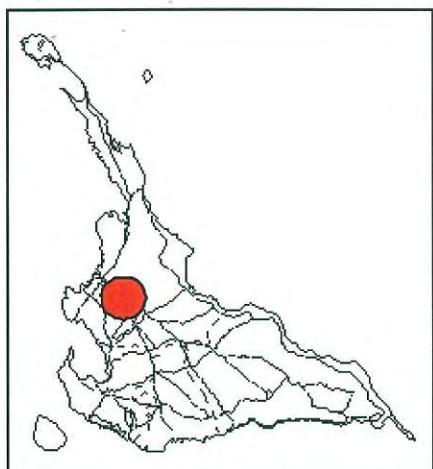
完成予定年度

平成20年度

平成17年度事業費

50百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、実施設計を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

胡屋泡瀬線街路事業費補助

～平成17年度 新規事業～

1. 事業概要

当路線は、沖縄環状線嘉手納基地ゲート付近から胡屋十字路を通り、国道329号高原交差点を結ぶ道路です。

本路線を整備することで中心市街地へのアクセス機能強化を図ることができ、中城湾新港地区と市街地の物流

・交通流の処理向上及び沖縄環状線との接続等、沖縄市の東西骨格軸を担う主要な幹線道路となります。また、沖縄市の市道胡屋18号線（市庁舎前線）が事業中であることから、連携した早急な整備が必要です。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成17年度

完成予定年度

平成23年度

平成17年度事業費

100百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、L=1.0kmの調査・測量・実施設計を行う予定である。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

宇座海岸環境整備事業（沖縄県読谷村）の整備促進

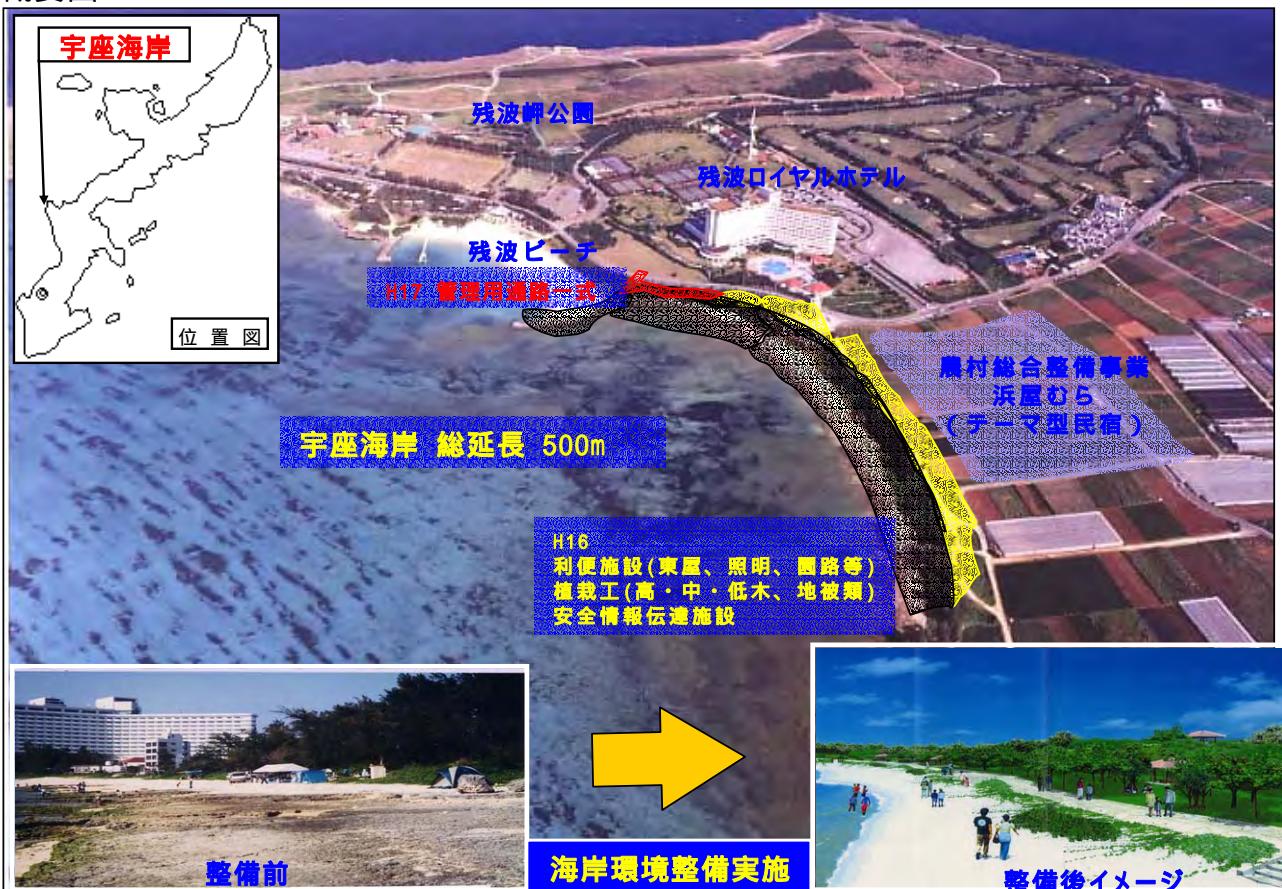
～ 平成 17 年度 完成事業 ～

1. 事業概要

当海岸域周辺には、リゾートホテルやゴルフ場などのレジャー施設があり観光客で賑わっているところで、また、読谷村は、当地域の観光・交流機能の拡充を図るために海岸背後に農村と都市の交流を推進する民宿村（浜屋むら）を計画しています。当海岸は戦前は砂が豊富で景観が素晴らしい、地域の生活と密着した海岸でしたが、戦後米軍による採砂による砂浜の消失と共に岩盤が露出し、安心して海水浴ができる危険な状態となっていました。このような状況に鑑み、海岸環境整備事業により砂浜や緑を復元し、周辺施設の整備と一体となった海岸保全施設を整備することにより、国土保全と併せて親しみのもてる海岸環境を創出し、海岸利用の増大並びに観光資源の質及び利便性の向上を図ります。

完成・新規・継続の区分
完成
事業区分（直轄・補助）
補助
事業着手年度
平成 13 年度
完成予定年度
平成 17 年度
平成 17 年度事業費
15 百万円

概要図



2. 平成 17 年度の整備内容

海岸背後の利便施設と突堤間を結ぶ管理用通路を整備し、一連完成供用を図ります。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

都市公園等統合補助事業（マリンタウンC公園）

～平成17年度 新規事業～

1. 事業概要

本公園は、マリンタウン埋立地内に位置し、計画面積は4.16haで、主な施設は、園路、多目的広場、遊戯施設、便益施設などです。本公園の整備目的は、住民の憩いの場、地域コミュニティ活動及び健康増進の場を確保することにより、良好な都市機能及び都市環境の形成を図るもので

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成17年度

完成予定年度

平成21年度

平成17年度事業費

222百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

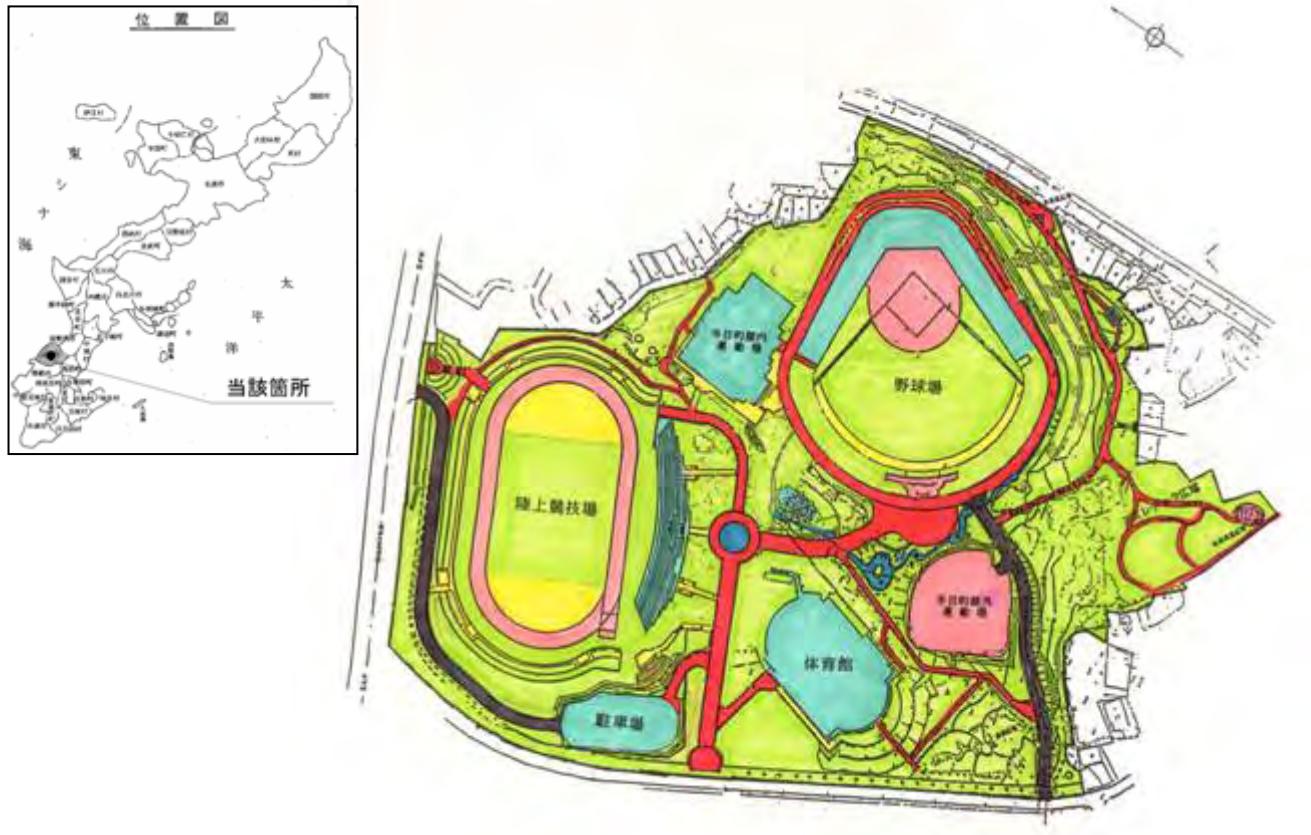
平成17年度は、公園基本設計及び用地買収を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

浦添運動公園整備事業 ～平成17年度 完成事業～

1. 事業概要	完成・新規・継続の区分 完成
本公園は、浦添市の中南部に位置し、市民のスポーツ・レクリエーションの拠点として、昭和50年度より整備を推進しています。ほとんどの計画運動施設が完成し、平成15年度では温水利用型健康運動施設を整備し、その後修景施設を整備し、平成17年度までに公園の全部供用を目指します。	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 昭和50年度
	完成予定年度 平成17年度
	平成17年度事業費 92百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、野球場北側の園路・広場の修景施設の整備を行う予定です。浦添運動公園は運動施設がほぼ完成し多くの市民に利用されている。今回整備予定の園路等が完成するとジョギングやウォーキングに活用され、利用者の健康と体力増進に役立ちます。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

一般国道506号「那覇空港自動車道 豊見城東道路」の整備促進 ～平成17年度 繼続事業～

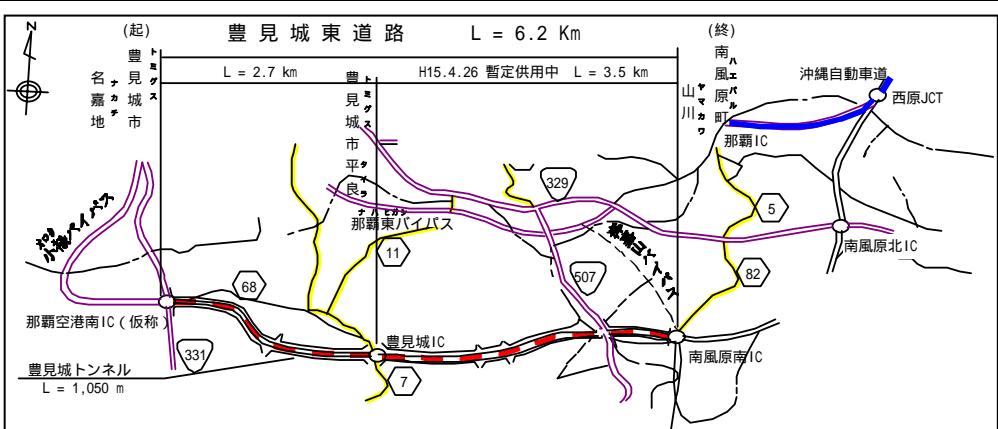
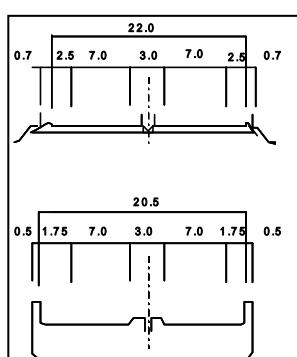
1. 事業概要

豊見城東道路は、那覇空港自動車道の一翼を担うもので、本島北部、中南部及び那覇空港間の定時性、高速性を確保するとともに都市部の交通混雑緩和に役立つことが期待されています。

平成15年4月26日に南風原南IC～豊見城IC間の部分暫定供用を行い、引き続き、那覇空港南IC（仮称）までの早期暫定供用をめざし事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分	継続
事業区分（直轄・補助）	直轄
事業着手年度	平成3年度
完成予定年度	平成19年度（暫定）
平成17年度事業費	5,100百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

早期暫定供用に向け、トンネル工事等の促進及び用地買収の促進を図ります。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

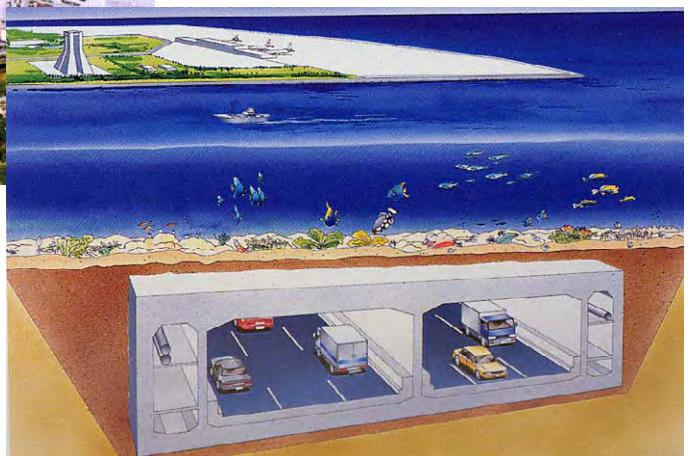
「那覇港那覇ふ頭地区臨港道路（空港線）」の整備促進 ～より効率的な物流体系の形成を目指して～

1. 事業概要

那覇港は沖縄県の物流の中心拠点港湾として県の経済活動を支えています。那覇港臨港道路（空港線）は那覇港と那覇空港及び本島南部を海底トンネルにより連絡するものであり、那覇港における効率的な物流体系の形成に加え、国道58号線の交通負荷の軽減に資するものとして、早期供用が期待されています。これまでに沈埋トンネルの本体である沈埋函は全体で8函のうち5函を製作し、3函を据え付けてきました。

完成・新規・継続の区分	継続
事業区分（直轄・補助）	直轄
事業着手年度	平成4年度
完成予定年度	平成20年度
平成17年度事業費	10,946(10,399)百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

沈埋函2函の製作工事、2函の据付工事、さらに引き続き空港側立坑の築造工事を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

一般国道58号「那覇西道路」の整備促進

～那覇市内の渋滞緩和を目指して～

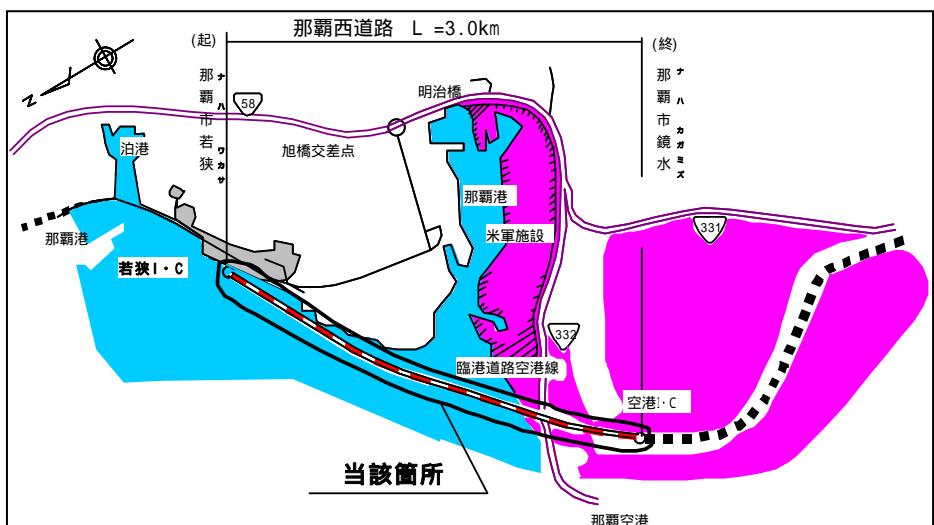
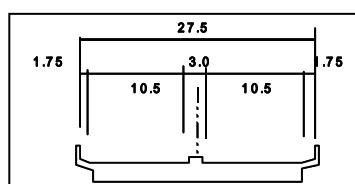
1. 事業概要

那覇西道路は沖縄西海岸道路（延長約50km）の一部を構成する道路で、那覇市若狭から同市鏡水に至る延長L=3.0kmの道路であります。本路線は、那覇市街部及び周辺部の交通混雑の緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上を目的とした路線であり、また、観光、地域の活性化、地域振興プロジェクトの支援に資する道路として期待されています。

平成20年度の暫定供用を目指し事業の進捗を図ります。

完成・新規・継続の区分	継続
事業区分（直轄・補助）	直轄
事業着手年度	平成4年度
完成予定年度	平成20年度（暫定）
平成17年度事業費	7,580百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

早期暫定供用に向け、高架橋上下部工事等の促進及び用地買収の促進を図ります。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

一般国道329号「石川地区電線共同溝」事業の整備促進

～ 平成17年度 繼続事業 ～

1. 事業概要

当該事業は、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観及び都市防災性の向上を目的に、沖縄ブロック無電柱化推進計画に基づき、一般国道329号石川市白浜地内（道路延長 $L = 0.942\text{km}$ ）において、道路の地下空間に電線共同溝を整備し電線類の地中化を図るもので

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成16年度

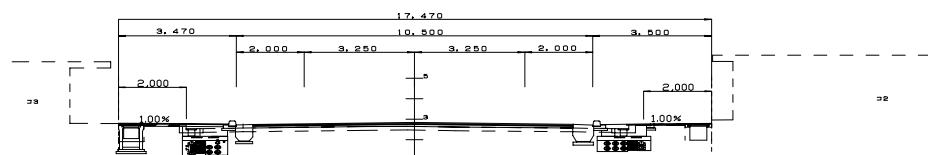
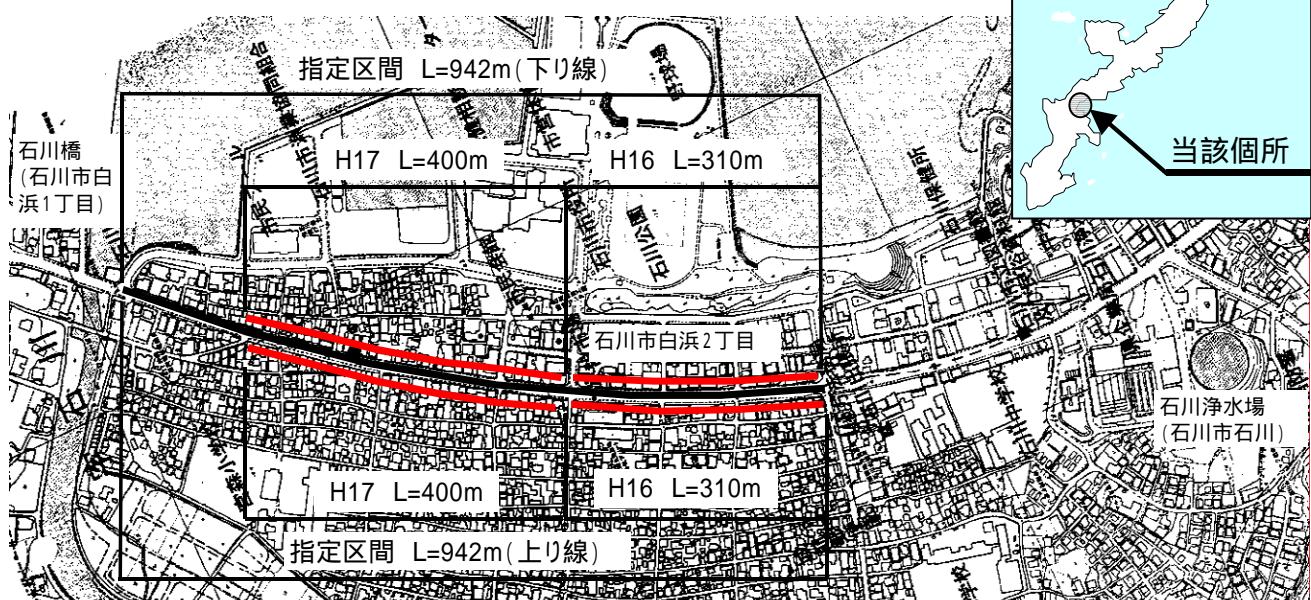
完成予定年度

平成18年度

平成17年度事業費

440百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、指定区間の内 $L = 0.40\text{km}$ の上下線の整備を行う予定です。

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

那覇空港の整備（滑走路改良）

～平成17年度 完了～

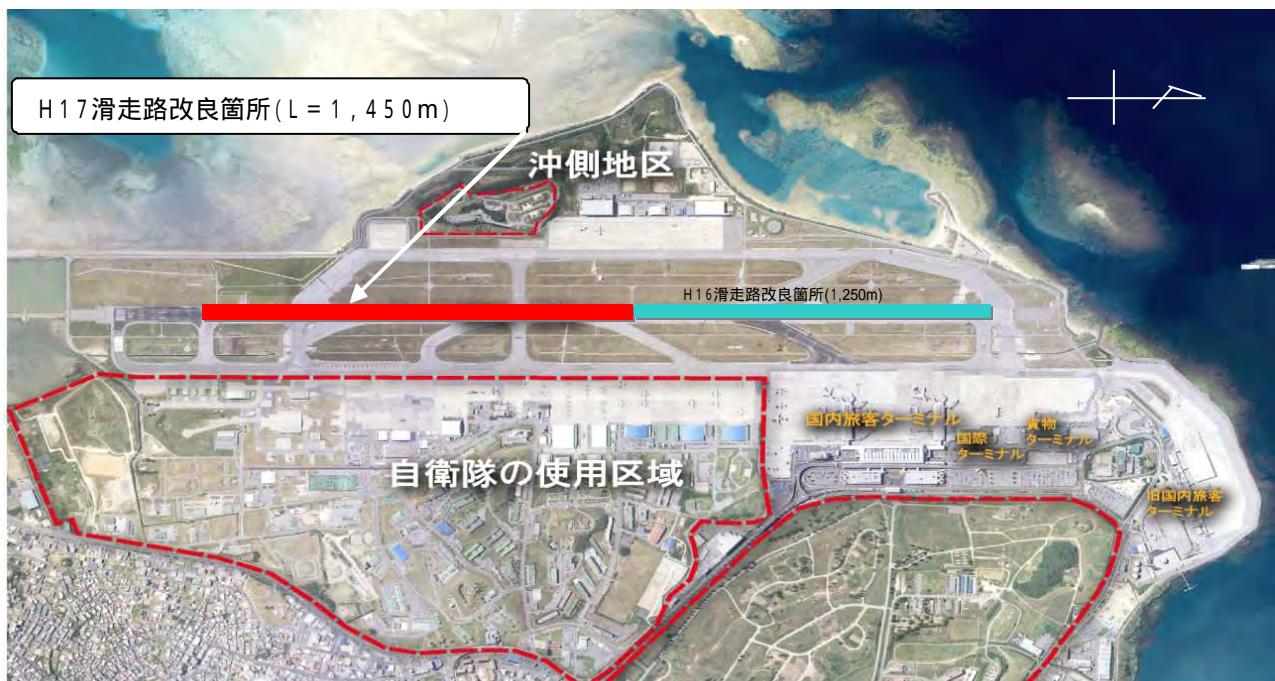
1. 事業概要

空港の根幹施設である滑走路3,000mのうち2,700m区間については、平成元年・2年度に嵩上げによる改良を行っているが、長年の使用により舗装体の劣化が進行していることから、平成16年度及び平成17年度に改良工事（劣化層を除去し、新たに舗設）を行うものである。

完成・新規・継続の区分	継続
事業区分（直轄・補助）	直轄
事業着手年度	平成16年度
完成予定年度	平成17年度
平成17年度事業費	933百万円

概要図

平成17年度 施工箇所



2. 平成17年度の整備内容

滑走路（南側）1,450m区間の改良を行う。As 舗装 A = 65,000m²

【自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり（活力）】

一般国道507号 津嘉山バイパスの整備促進 ～平成17年度 繼続事業～

1. 事業概要

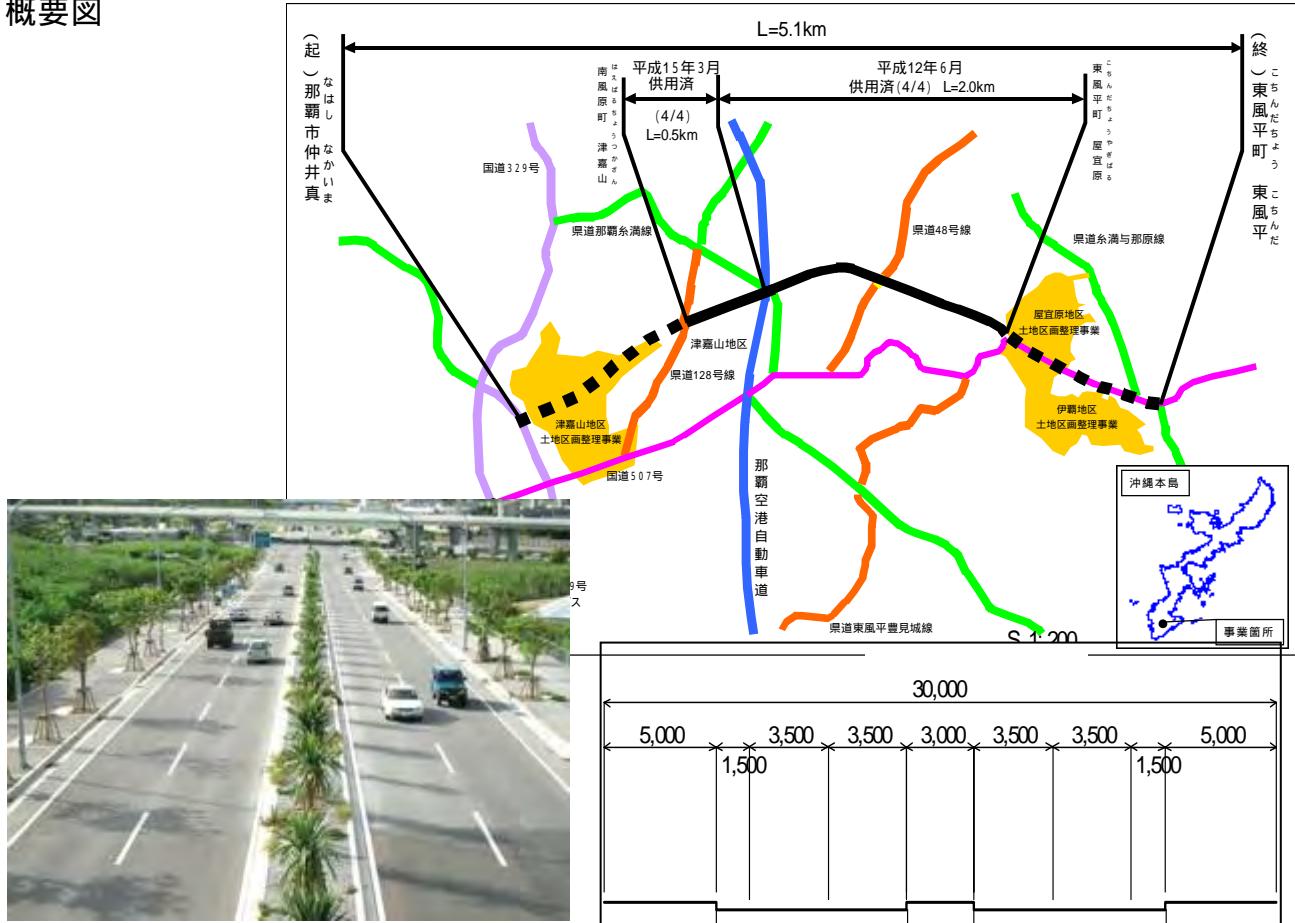
一般国道507号は、沖縄本島南部地域の中央部を縦貫し、那覇空港自動車道や国道329号那覇東バイパスに連結する幹線道路であります。

当該道路の現道は、慢性的な交通渋滞が発生していることから、バイパスの整備により、交通渋滞の緩和を図るとともに、那覇空港・那覇港へのアクセス性の向上を図るものであります。

L=5.1km、W=30m（4車線）

完成・新規・継続の区分	継続
事業区分（直轄・補助）	補助
事業着手年度	平成2年度
完成予定年度	平成19年度
平成17年度事業費	4,220百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、屋宣原地区の道路改良工事、津嘉山地区の用地買収及び道路改良工事、津嘉山北地区及び伊霸地区土地区画整理事業への公共施設管理者負担金の対応を図る予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

羽地ダム

～平成17年度 供用開始～

1. 事業概要

羽地ダムは、洪水調節、既得取水の安定化及び河川環境保全等のための流量の確保、かんがい用水及び水道用水の供給を目的とする多目的ダムです。

羽地ダムは、平成8年から本体工事に着手し、平成13年7月に開始した試験湛水を平成16年6月に完了しました。

平成17年度より管理に移行し、治水、利水の効果を十分発揮させるため、適正かつ効率的な運用を実施して行きます。

完成・新規・継続の区分
供用

事業区分（直轄・補助）
直轄

事業着手年度

-

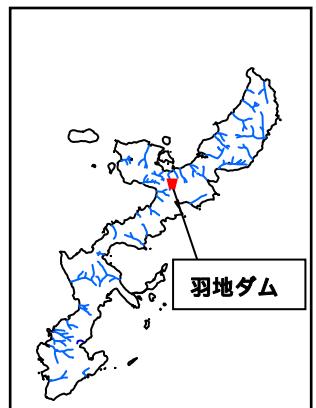
完成予定年度

-

平成17年度事業費
221百万円

直轄堰堤維持事業に係る事業費

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、管理に移行し直轄堰堤維持事業により適正かつ効果的な貯水池運用と流水管理を実施し、治水及び利水の効果を最大限に発揮させます。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

我喜屋ダム

～平成17年度 供用開始～

1. 事業概要

伊平屋村の中の川水系シチフ川で完成した我喜屋ダムは、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、水道用水の供給を目的としています。我喜屋ダムの完成により、下流域の治水安全度は1/30まで向上し、また、新たに水道用水として最大70m³/日を伊平屋村に供給することができます。

我喜屋ダムは平成13年から本体工事に着手し、平成15年11月から試験湛水を開始しています。平成17年度は試験湛水を完了させ、管理に移行し、治水、利水の効果を発揮させるため、適正かつ効率的な運用を実施して行きます。

完成・新規・継続の区分
供用

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度

-

完成予定年度

-

平成17年度事業費

-

概要図



位置図



我喜屋ダム(H17.3月)

2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は試験湛水を完了させ、管理に移行し、治水、利水の効果を発揮させるため、適正かつ効率的な貯水池運用と流水管理を実施して行きます。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

比謝川広域基幹河川改修事業 ～近年大きな被害を受けた地域における緊急対策～

1. 事業概要

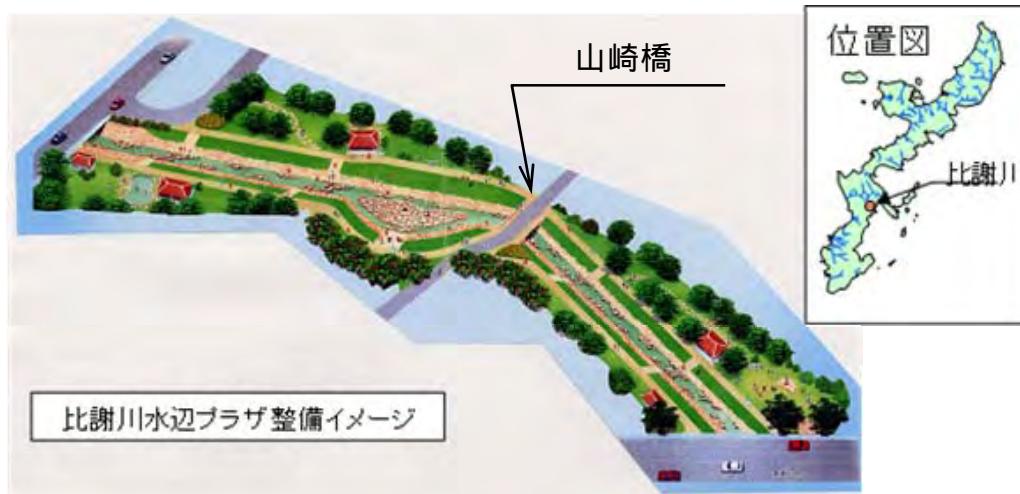
比謝川、特にコザ十字路付近では、以前から浸水被害が多く、近年は毎年のように集中豪雨や台風による浸水被害があります。

緊急対策として、平成17年度までに住吉地区（水辺プラザ）の河川の狭隘区間を改修します。当該地区の河道が概成することにより、流下能力を37m³/sから52m³/sへ改善し、治水安全度の向上が図られます。

また、河川整備と都市緑地を一体として整備することにより、浸水被害の解消とあわせて、水と緑の潤いのある空間を創出します。

完成・新規・継続の区分
継続（緊急対策特定区間完成）
事業区分（直轄・補助）
補助
事業着手年度
昭和54年度
完成予定年度
平成20年代中頃
平成17年度事業費
640百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は護岸工L = 50mの施工、河床掘削、山崎橋改修と用地買収を実施します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

牧港川水系宇地泊川通常砂防事業（沖縄県 宜野湾市） ～平成17年度 完成～

1. 事業概要

宇地泊川は、中城村北上原を源流とし、琉球大学のキャンパスと宜野湾市内を貫流して宜野湾市宇地泊地先で東シナ海に注ぐ二級河川です。事業区間は深い渓谷状の渓流となっており、河床勾配も急峻であります。流域が広い都市部の河川であるため台風等による豪雨時には流域の表流水が集中して激流となり、これまで渓岸の先堀や斜面崩落の土砂災害が度々発生してきました。

下流は住宅密集地であり国道58号が通っています。又、斜面上部には人家があるため、斜面崩壊による人家への被害の危険性も大きい地域であり、災害防止を図ります。

完成・新規・継続の区分
完成
事業区分（直轄・補助）
補助
事業着手年度
平成4年度
完成予定年度
平成17年度
平成17年度事業費
80百万円

概要図



護岸崩壊状況



降雨時の状況



位置図

2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は護岸工（延長 $L = 135m$ ）等を実施します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

総合流域防災事業【小谷地区地すべり対策（沖縄県島尻郡佐敷町）】 ～平成17年度 新規事業～

1. 事業概要

小谷地区は、沖縄本島南部の佐敷町西部に位置し、地形は標高 170m程度の全体にゆるやかな起伏を示す丘陵地域で、斜面自体に地すべりの兆候と見られる小崩壊や亀裂等が多数見られます。

斜面下には災害時要援護者施設の特別養護老人ホーム小谷園があり、平成7年3月と6月に施設背後の斜面が崩壊して施設に被害をもたらしました。

その後も地すべりは進行しており土砂災害の再発の恐れがあることから、今後の土砂災害を未然に防止するために地すべり対策を実施するものです。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成17年度

完成予定年度

平成21年度

平成17年度事業費

50百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は概略設計、抑制工等を実施します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

浜海岸高潮対策事業（沖縄県国頭村）の整備促進

～平成17年度 完成事業～

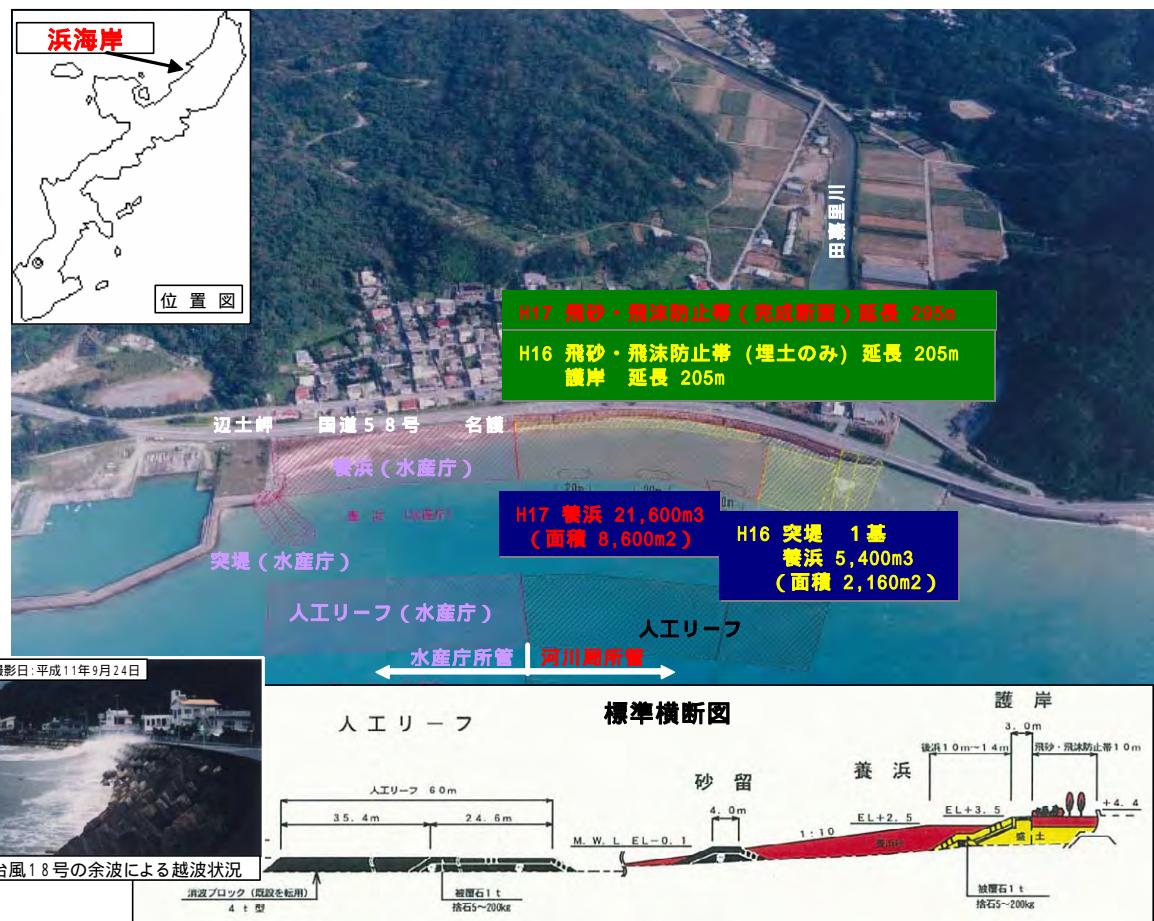
1. 事業概要

浜海岸は、沖縄本島北部西海岸に位置し、東シナ海に面しております。海岸沿いには、沖縄本島を南北に結ぶ幹線道路である国道58号、その背後には浜集落の民家が密集しています。

現状の海岸保全施設は消波ブロック付き直立護岸ですが、台風及び冬季波浪時には高潮・波浪等により、国道の交通阻害や背後の民家等に越波・飛沫被害が生じているところです。そこで、当海岸一帯が「沖縄海岸国定公園（普通地域）」に指定されていることから、景観にも配慮し、人工リーフや養浜を配置した面的な海岸保全施設の整備を隣接する国頭浜漁港海岸（水産庁）と共同で実施し、背後地の保全並びに海岸利用の利便性向上を図ります。

完成・新規・継続の区分	完成
事業区分（直轄・補助）	補助
事業着手年度	平成13年度
完成予定年度	平成17年度
平成17年度事業費	108百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成16年度に引き続き養浜を継続して実施すると共に、海岸背後への飛砂・飛沫防止のための植栽を整備し、一連完成供用を図ります。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

総合流域防災事業【浸水想定区域調査】

～平成17年度 新規事業～

1. 事業概要

近年、浸水被害の多発する比謝川、小波津川において、危機管理対応力の向上を図るため、浸水想定区域調査を行います。

浸水想定区域調査とは、ある計画の降雨があった場合に想定される浸水範囲、浸水水位を調査するもので、洪水時に住民の円滑かつ迅速な避難確保のための基礎資料となります。

完成・新規・継続の区分

新規

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

-

完成予定年度

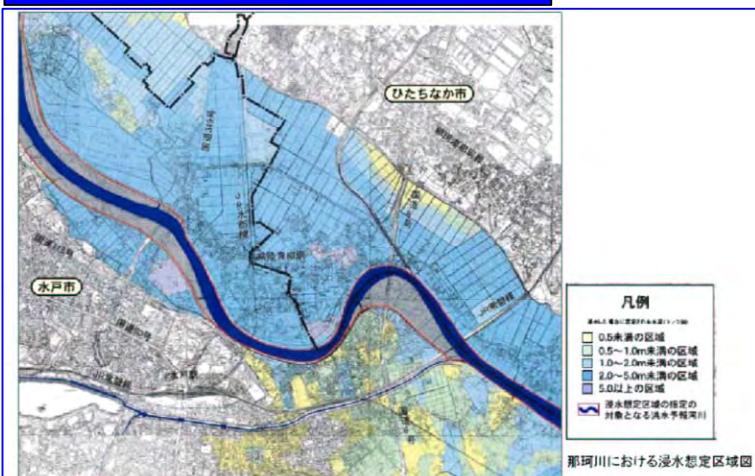
-

平成17年度事業費

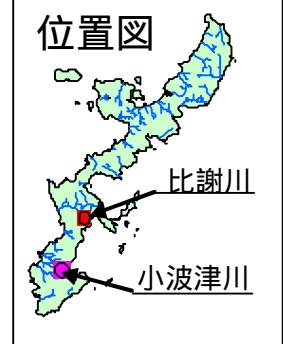
30百万円

概要図

浸水想定区域図作成のイメージ



位置図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は近年、浸水被害の多発する比謝川、小波津川において浸水想定区域図作成に必要な諸調査を行います。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

沖縄北西部河川総合開発事業（大保ダム）の整備促進

～ 沖縄本島の安定的な水道用水の早期確保を目指して ～

1. 事業概要

大保ダムは、大保川水系大保川に大保ダムを建設し、沖縄県企業局による西系列水道水源開発事業における8河川取水等を大保ダムに導水するもので、洪水調節、既得用水の安定化及び河川環境保全等のための流量確保、水道用水の供給を目的としています。

大保ダムでは、平成14年度に本体建設工事に着手しました。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

直轄

事業着手年度

平成2年度（建設事業）

完成予定年度

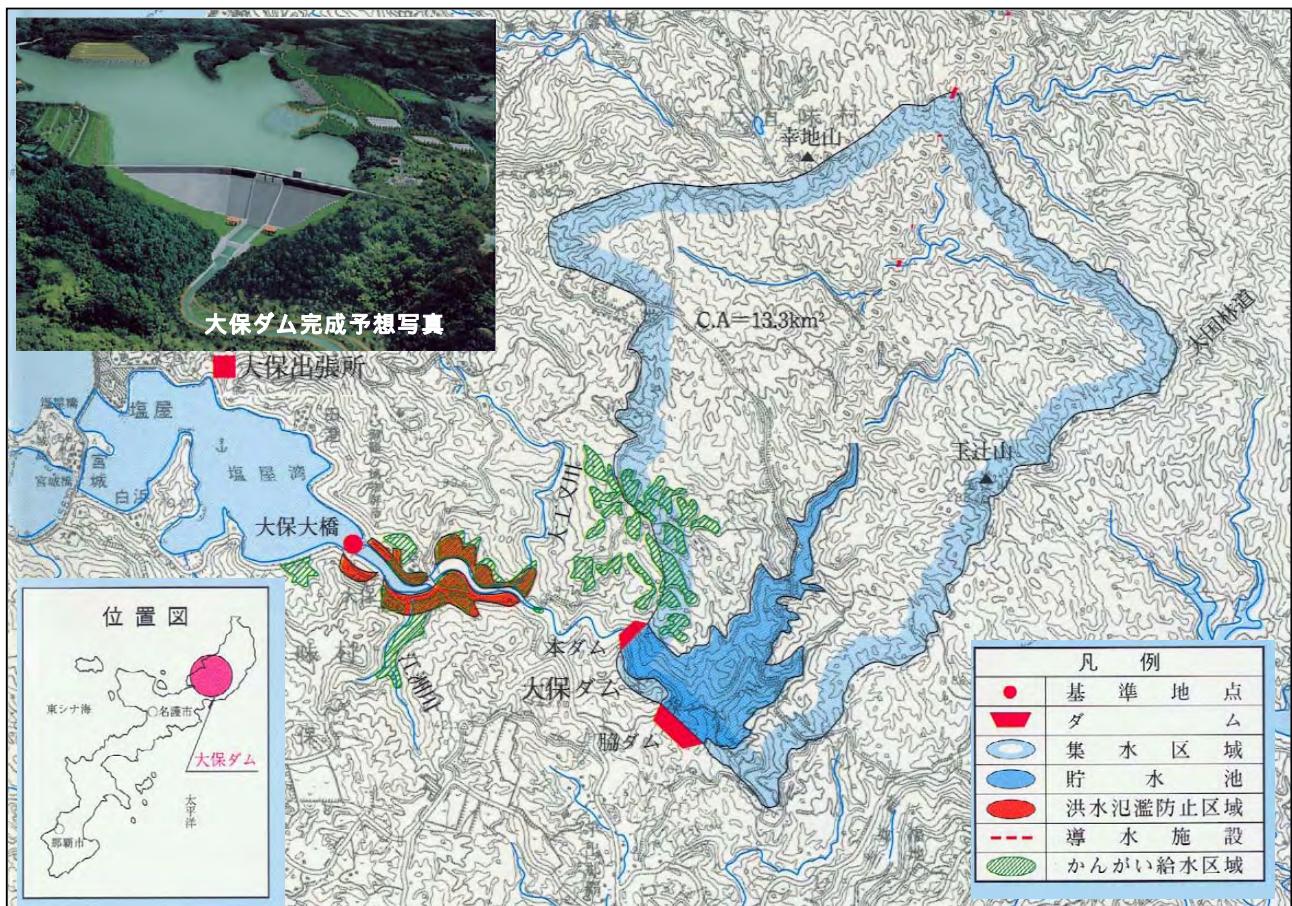
平成21年度

平成17年度事業費

10,118百万円

沖縄北西部河川総合開発事業

概要図



2. 平成17年度の整備内容

本ダムについては基礎掘削、脇ダムについては盛立てを継続して行います。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

那覇第2地方合同庁舎の整備促進

～平成17年度 2号館の工事着手～

1. 事業概要

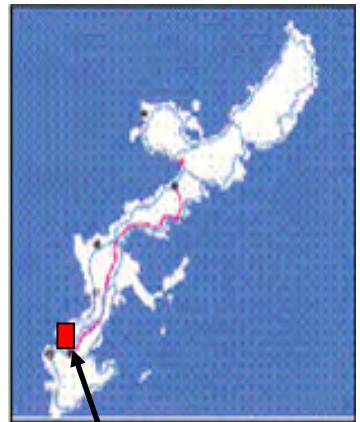
那覇市内に散在する国の機関が入居する施設を集約・合同化することにより、公務能率、行政サービスの向上及び防災機能の確保等を図ります。また、防災拠点となっている官庁施設の耐震化を推進し、災害対策活動が行えるよう確保します。

庁舎を3棟分割方式での整備としており、既に1号館は、平成15年6月に完成し、業務を遂行しています。

平成17年度においては、2号館の工事に着手し、平成19年度の完成を目指します。

完成・新規・継続の区分 継続
事業区分（直轄・補助） 直轄
事業着手年度 平成17年度
完成予定年度 平成19年度
平成17年度事業費 780百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

利用者への行政サービス向上を目指し、平成15年度に完成した1号館に引き続き、2号館の工事に着手します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

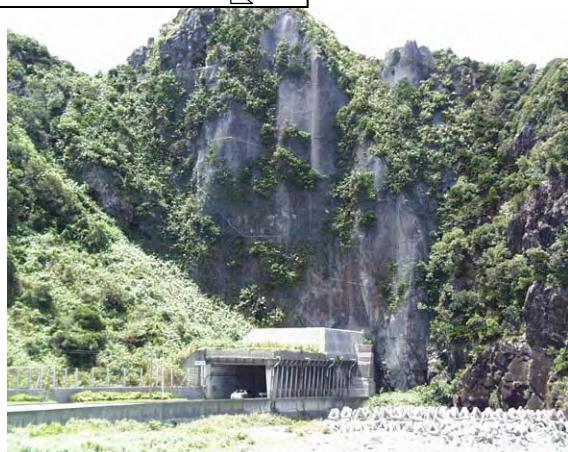
一般国道58号「座津武防災」の整備促進 ～用地買収及び工事着手～

1. 事業概要

一般国道58号の国頭村にある「座津武トンネル」は、坑口部に急峻な岩盤斜面を有しており、以前からその危険性が指摘され、これまで種々の面対策工を実施してきました。しかし小規模ですが落石が恒常に発生しており、将来的に大規模な岩盤崩落の誘因となりトンネル本体に致命的な損傷を与えることが懸念される状態です。このため、危険箇所を回避する別線トンネルを整備し、抜本的な安全対策を実施するものです。

完成・新規・継続の区分
継続
事業区分（直轄・補助）
直轄
事業着手年度
平成16年度
完成予定年度
平成20年代前半
平成17年度事業費
480百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

道路詳細設計及びトンネル詳細設計を進めると共に、法面対策工及び用地買収に着手します。

○【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

国場川広域基幹河川改修事業 ～災害に強い都市の構築～

1. 事業概要

国場川は、那覇市と南風原町の市街地を流下する典型的な都市河川です。

復帰直後の昭和47年度から河川改修事業に着手、平成16年度までに河口から約5.6kmの整備を完了していますが、未整備区間では近年でも浸水被害が発生しています。平成11年9月の台風では128戸の床上浸水被害が発生しており、地域住民からはさらなる河川改修の推進を望まれています。

また、浸水被害の解消とあわせて、失われた自然水辺のうち回復可能な場所については自然水辺を再生します。

完成・新規・継続の区分

継続

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

昭和47年度

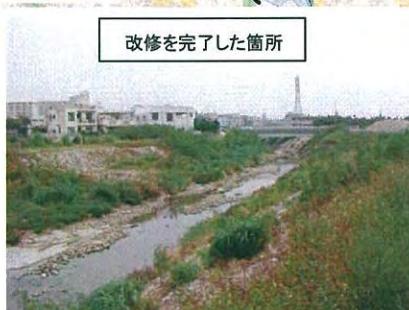
完成予定年度

平成20年代後半

平成17年度事業費

1,290百万円

概要図



流下能力
(現況:130m³/s、改修後:220m³/s)

失われた自然水辺の再生

2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、護岸工L=670mと用地買収を実施します。

【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

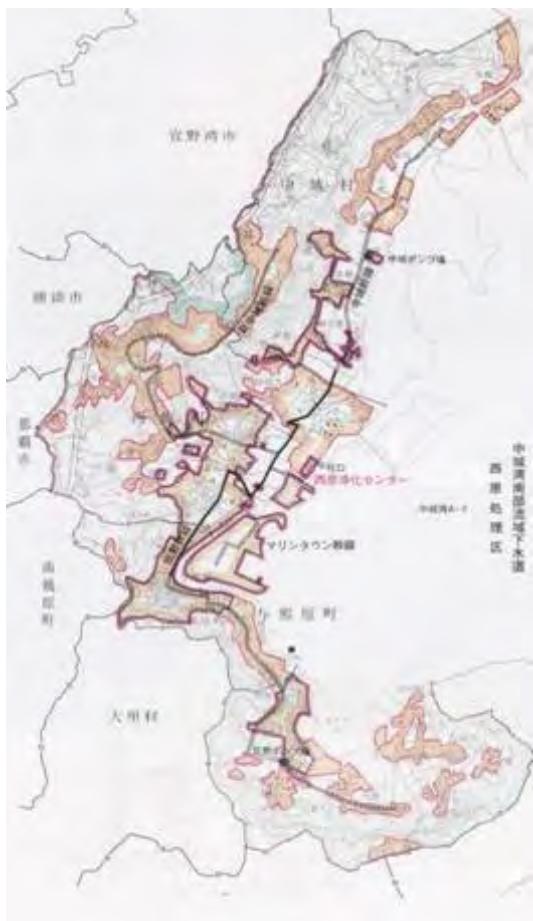
中城湾南部流域下水道

1. 事業概要

中城湾南部流域下水道（西原処理区）は近年人口が増加している中城湾南部4町村の要望を受け事業着手しました。平成14年4月に西原浄化センターが供用を開始し、当初は西原町、与那原町、中城村が接続していたが平成16年度に佐敷町も供用を開始した。中城湾南部流域の住民の生活環境の向上を計るため、今後も幹線・処理場整備を推進します。

完成・新規・継続の区分
継続
事業区分（直轄・補助）
補助
事業着手年度
平成8年度
完成予定年度
平成27年度
平成17年度事業費
1,792百万円

概要図



西原浄化センター

2. 平成17年度の整備内容

下水道普及促進のため、幹線整備及び流入水量の増加に対応して下水処理施設整備を行います。

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

公営住宅等の整備促進（県営屋宜原団地）

～平成17年度 完成供用～

1. 事業概要

東風平町の区画整理事業内において良質な住宅を供給することにより、市民の居住水準の向上を図ります。

平成15年度より建設工事に着手し、平成17年度完成供用予定であり、建設戸数は60戸となっています。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成15年度

完成予定年度

平成17年度

平成17年度事業費

387百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

前年度に引き続き、団地（鉄筋コンクリート造、地下1階・地上5階建て）の整備を行います。

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

石垣港離島ターミナル再開発事業の整備促進 ～八重山諸島の玄関口の再編を進めます～

1. 事業概要

石垣港は西表島、竹富島など周辺離島への発着地として、年間約180万人（H15）が利用する八重山諸島の生活及び観光の玄関口です。観光客の増加により約190便/日の旅客船が発着しており、現在の施設では水域・陸域とも狭隘となり、早急な再整備が求められています。

石垣港離島ターミナル再編事業は、これらの要請に応えるとともに、石垣市が進める都市再生と連携してみなとまちづくりを促進するものです。これまで浮桟橋2基が製作されています。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成15年度

完成予定年度
平成24年度

平成17年度事業費
700（630）百万円

概要図



2. 平成17年度の整備内容

平成17年度は、浮桟橋2基と臨港道路及び旅客待合所の整備を行う予定です。